No. 188

長文読解 ULTIMATE CHEAT SHEET

図表・グラフつき長文の読み方

図表問題は英語力より「見る順番」と「数字の言い方」で差がつく。読み方の手順、照合の原則、増減・比較の英語表現をまとめる。

Web版はこちら

ここだけ3行

1 数字より先に、タイトル・軸・単位・凡例を見る

2 %どうしの差は「ポイント」。割合と人数を混同しない

3 本文の sharply・slightly をグラフの傾きと対応させる

◆ 図表を読む6ステップ 6

いきなり数字を見ない。枠組み→全体→細部の順に進む。

① **タイトルで「何の図か」をつかむ**
何を・いつ・誰を対象に調べたか。Survey of 500 high school students（高校生500人の調査）のような対象と人数も確認。

② **軸・単位・凡例を確認**
縦軸と横軸は何か、単位は % か人数か（thousands＝千、millions＝百万）、線や色はどの項目か。ここの読み違いが最大の失点源。

③ **全体の傾向を一言で**
「全体に増加」「AとBが逆転」「2020年に急落」のように形を言葉にする。細かい数字はその後。

④ **目立つ点に印**
最大・最小・交差・急な変化・横ばい。設問と本文の説明は、たいてい目立つ点に集まる。

⑤ **設問を読んで探す物を決める**
図表だけで解ける設問か、本文と合わせる設問かを見分ける。数字の計算が要るなら図表に書き込む。

⑥ **本文と照合する**
本文が図表のどの部分を説明しているかを特定し、増減の語と数字を1つずつ確かめる。

◆ 照合の8原則 8

☐ **1 割合と実数を区別する**
割合が下がっても、全体が増えれば人数は増えることがある。percentage・proportion（割合）か number（数）かを見る。

☐ **2 単位の桁を確認する**
in thousands なら「3」は3,000。選択肢は単位を変えて書かれることがある。例）2.5 million＝250万

☐ **3 調査年と対象を確かめる**
図表の年と本文の年、調査対象（全国か一地域か、大人か学生か）がずれた選択肢は不正解。

☐ **4 注（＊）と出典を読む**
「複数回答」「推計値」「一部地域を除く」などの条件が、正誤の決め手になる。

☐ **5 予測値は事実ではない**
projected・forecast は予測、estimated は推計（見積もり）。どれも実測値ではない。グラフの点線や「2030年（予測）」を事実として書いた選択肢に注意。

☐ **6 データと解釈を分ける**
図表が示すのは「何が起きたか」まで。「なぜか」は本文の筆者の解釈。図表だけで原因を決めつけた選択肢は不正解。

☐ **7 倍数は計算で確かめる**
twice・three times・half は必ず数字で計算する。15→30 は2倍、15→45 は3倍。目分量で選ばない。

☐ **8 複数回答は合計が100%を超えうる**
「当てはまるものすべて」の調査では項目の合計が100%を超えることが多い。足して100%にならなくても誤りではない。

注意
%の差は「ポイント」：支持率が20%から30%になったら「10ポイント増加（increased by 10 percentage points）」で、もとの値から見れば「50%増加」。英語の選択肢は<u>percent と percentage points を使い分けてくる</u>。どちらの意味かを数字で確かめる。

◆ 増減・推移の表現 16

表現	意味	メモ
☐ **increase / rise / go up**	増える	rise は自動詞。raise（上げる）と区別
☐ **decrease / decline / fall / drop**	減る	decline は「衰退」の意味も
☐ **soar / surge / skyrocket**	急増する	グラフが急な上向き
☐ **plunge / plummet**	急落する	グラフが急な下向き
☐ **remain stable / stay the same**	横ばいだ	remain steady / flat も同じ
☐ **level off / plateau**	横ばいになる	増減のあとで平らになる
☐ **fluctuate**	上下に変動する	ジグザグのグラフ
☐ **peak at ～**	～で最大になる	reach a peak of ～ も同じ
☐ **hit a low / bottom out**	底を打つ	最小値。その後回復することが多い
☐ **recover / rebound**	回復する	一度下がった後に戻る
☐ **double / triple**	2倍・3倍になる	動詞として使う
☐ **halve / be cut in half**	半分になる	halve は語末が /v/（half は /f/）
☐ **increase by 10%**	10%増える	by＝差（変化の量）
☐ **increase to 10%**	10%に増える	to＝到達点（変化後の値）
☐ **a steady rise**	着実な増加	形容詞＋名詞の形でもよく出る
☐ **the trend reversed**	傾向が逆転した	増加→減少などの転換点

◆ 比較・割合の表現 14

表現	意味	メモ
☐ **account for 30%**	30%を占める	make up / represent も同じ
☐ **the proportion of A**	Aの割合	percentage / share / rate も
☐ **the majority of**	大多数の・過半数の	少数は a minority of
☐ **a quarter / a third**	4分の1／3分の1	three quarters＝4分の3

☐ **A outnumber(s) B**	AはBより数が多い	比較級を使わない比較
☐ **twice as many A as B**	AはBの2倍の数	量なら twice as much
☐ **exceed ～**	～を超える	surpass も同じ
☐ **just over / just under**	～をわずかに上回る／下回る	approximately＝約
☐ **the second largest**	2番目に大きい	序数＋最上級
☐ **followed by B**	次にBが続く	順位の説明の定番
☐ **compared with ～**	～と比べて	in comparison with も同じ
☐ **A and B, respectively**	それぞれA、B	前に出た順に対応させる
☐ **the former / the latter**	前者／後者	2つの項目を指し分ける
☐ **nearly half of**	半数近くの	nearly＝届かない側。超えていない

◆ 増減の程度：強→弱

本文の副詞とグラフの傾きを対応させる目安（見た目の傾きは軸の目盛りでも変わる）。程度のすり替えは定番のひっかけ。

程度	副詞	グラフの形
急激	dramatically / sharply / rapidly	急な傾き（rapidly は速さ）
かなり	significantly / considerably / substantially	はっきり分かる傾き
ゆるやか	gradually / moderately	なだらかな傾き（steadily は「一定のペースで」）
わずか	slightly / marginally	ほぼ横ばいに近い

◆ 紛らわしい数字の英語 5

☐ **rise by 5%**
5%分増える（差）
by は変化の量、to は変化後の値

vs **rise to 5%**
5%まで増える（到達点）

☐ **10 percent**
10%（割合そのもの）
20%→30% は10ポイント増、50%増

vs **10 percentage points**
10ポイント（割合どうしの差）

☐ **the number of**
（数えられる物の）数
number of people / amount of water

vs **the amount of**
（数えられない物の）量

☐ **nearly 50%**
50%近く（50未満）
nearly・almost は届いていない

vs **over 50%**
50%を超える

☐ **an increase in sales**
売上の増加（何が）
in は増えた物、of は増えた量

vs **an increase of 5%**
5%の増加（どれだけ）

◆ 練習用データ（架空の調査）

Daily smartphone use among high school students（%）。この表で確認テスト1～3を解く。

1日の使用時間	2015	2025
Less than 1 hour	30	10
1–3 hours	50	45
More than 3 hours	20	45

◆ 図表問題のありがちなミス 4

☐ ✕ ~~数字から読み始める~~
○ **タイトル・軸・単位・凡例から見る**
単位や凡例の読み違いは全問に響く

☐ ✕ ~~割合が減った＝人数が減った~~
○ **割合か実数かを確かめる**
全体が増えれば、割合が減っても人数は増えうる

☐ ✕ ~~図表から原因まで判断する~~
○ **原因は本文の説明で確かめる**
図表が示すのは数値・傾向で、原因は示さない

☐ ✕ ~~点線の予測値を事実として読む~~
○ **projected・estimated を確認**
予測を事実にするのは定番のずらし

◆ 確認テスト

1 練習用データ：More than 3 hours の割合は2015年から2025年に ＿＿＿。
a remained stable　b halved　c more than doubled
d fell slightly

2 練習用データ：Less than 1 hour は何ポイント減った？
a 30ポイント　b 10ポイント　c 67ポイント　d 20ポイント

3 練習用データから言えないことは？
a 1～3時間は2025年に45%　b 3時間超は増えた
c スマホのせいで成績が下がった　d 1時間未満は減った

4 Sales rose from 200 to 260 units. Sales rose ＿＿＿ 30%.
a at　b to　c for　d by

5 Women accounted for 60% of the members. の意味は？
a 女性会員が60%増えた　b 会員の女性は60人だった
c 女性の60%が会員だった　d 女性が会員の60%を占めた

◆ 解答

1 more than doubled 20→45 で2倍超
2 20ポイント 30−10＝20。割合どうしの差
3 スマホのせいで成績が下がった 原因・影響は表に書いていない
4 by 60÷200＝30%の増加量
5 女性が会員の60%を占めた account for＝占める

参考資料 原田英語「【2027年度版】共通テスト英語リーディング解き方＆対策法大全」（図表はタイトル・軸・単位を先に）

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳（PDF印刷）・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート（全439本・無料）